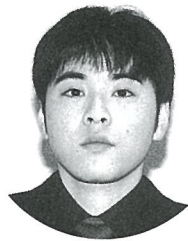


はばたけ、新成人!

成人の日の1月15日、町文化会館を会場に成人式が行われました。今年には236人が大人の仲間入り。この日会場に集まったみなさんは、實川町長からの激励、来賓、恩師からたくさんのお祝福の言葉を受けてました。式典終了後は、各クラスごとに記念撮影が行われ、友人や恩師との久しぶりの再会に喜ぶ姿が見られ、なごやかに談笑していました。

「今、思うこと」



佐藤 真さん
(栗山1)

なんと歳月の早いことだろう私も、もう二十歳になった。今思えば、小さい頃いろいろなものに憧れて、自分の大きくなった時の姿をあれこれと想像しては、胸をときめかしていたのを懐かしく思います。

しかし、成長する過程においていろいろな物やそう言った、考え方は淘汰されていって、自分にはできない事の方が多いということに、気付かされてしまふ。それが現実なのかもしれま



せん。でも、その逆に、自分にしかできない事だつてきつとあるのだと思います。自己の覚醒において、そう考えて生きる事は結構重要な事かもしれません。

つまり、人は「何になるかという事より、どう生きるか」ということの方が大事ということです。進学や就職にしても、それに受かることが人生の目的ではないのです。それに受かることによつて、自分なりの生き方なり方を模索し、幸せになることが、本当の人生の目的だと私は思います。

人生は一度しかありません。それも生きられる年数もほとんど決まっています。二十歳を迎えてすぐとはいきませんが、大人としても自覚をもち、これからは社会人として頑張つていきたいと思えます。そして、年をとつたときに、幸せな人生だったと思えるような生き方をしていこうと思えます。

仲間入りをしました。

